

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達さぼーとセンターのぼろ(放課後デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年 7月 12日		～ 令和6年 7月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79	(回答者数) 53
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 15日		～ 令和6年 11月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作業療法士や言語療法士、社会福祉士、保育士が連携し多角的な視点から個々のアセスメントを行ったうえで適切な療育を実施することができる。	・活動後に日々の振り返りを実施し、次回の活動へ繋がる療育を行っている。 ・個々の苦手なことを把握し「こうしたらできる」「できた」という達成感に繋がる手立てを考えている。	・ICTや便利ツール等を使って視覚支援や必要な支援を行い、自分で「できた」と思えるように経験を積み重ねていく。
2	・日々送迎時のフィードバックを通して、子ども達の様子や活動内容を保護者に伝えることができています。	・日々の療育内容のねらいや成果を療育終了後に保護者に伝えている。また、いつもと違う様子が見られた時にも保護者に伝え児童の思いを丁寧に把握できるよう務めている。 ・月に一回お便りを発行し、事業所全体の様子や予定、連絡事項を伝えるようにしている。	・保護者とともに暮らしやすさを考え、将来に向けて必要な力を育てる。
3	・個別支援計画更新時や保護者からの要望があった際に面談をし、療育方針や今後の見通しを共有している。	・事業所と保護者だけの連携ではなく、相談支援事業所、学校とのトライアングルプロジェクト会議に参加し、関係機関との連携を図っている。 ・各関係機関の中で得られた情報をもとに支援計画を立て保護者への説明を行っている。	・学校との連携を深め、それぞれの役割を果たせるよう、定期的に情報交換できるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の子ども達や保護者同士の連携が少ない。	・利用者の暮らし地域の状況や連携できる機関を把握できていない。 ・就労している保護者同士が集まりにくい。	・長期休暇期間の活動時には、将来の暮らしに繋がるよう、地域に向いて社会資源を使った活動を取り入れていく。 ・あらかじめ年間計画を立て、保護者交流会に向けて準備を進めていく
2	・こども園と共有している園庭やプールの利用時に、時間やルールの制約があり、十分に活動できない場合がある。	・共有するスペースをお互いが安全に使用する為、時間や遊び方を調整する必要がある。	・利用児には社会的なルールを含め、十分な説明を行っている。 ・発散できる部屋の確保や環境の工夫
3	・子ども園と連携した非常時の対応	・避難訓練を午前中に行っているため、利用が午後になる児童は参加できない。	・月に1回、独自で非常時対応訓練を行う。一方でこども園と合同の避難訓練を放課後デイの時間帯に設定する。

放課後等ディサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 7年 1月 23日

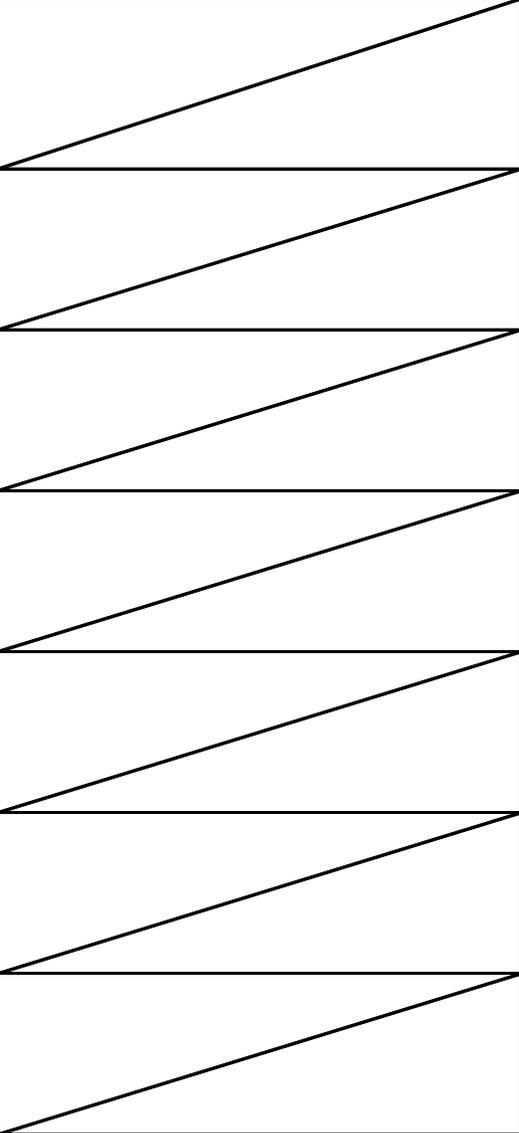
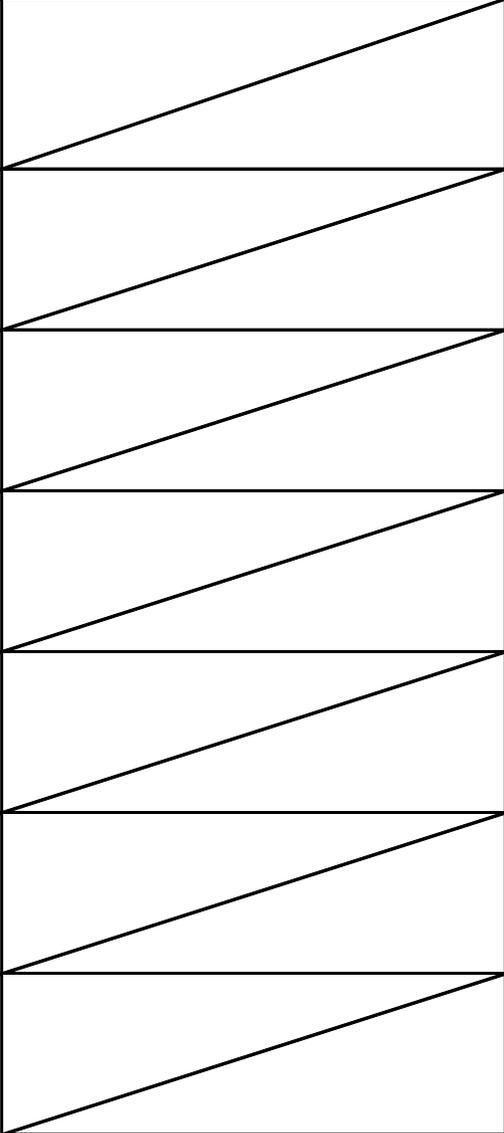
回答数：

34件

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員規定は満たしています。活動やグループの状態に応じて棚、机等配置を変えるなどして使いやすいスペースの工夫を適宜しています。	はい 29 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 2		引き続き、活動に応じて必要なスペースを確保していきます。 また、保護者の方が施設内を見学して頂きやすいよう声をかけさせていただきます。
	2 職員の適切な配置	1つのグループに2~3名の担当職員を配置し、必要に応じて増員しています。	はい 31 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 1		引き続き、活動に応じて必要な職員を配置するとともに、個別での対応が必要な場合は職員内で連携をとってしっかり関わられるようにします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、クッキングの手順や子どもの意見を反映できるように写真や選択肢を提示しています。	はい 30 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 4		引き続き、個々に合った提示の方法を検討しながらわかりやすい環境・活動内容を提供していけるようにします。また、保護者の方が施設内や子どもの様子を見学して頂きやすいよう声をかけさせていただきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子ども達の特性や状態に合わせて、静養スペースを設けたり、活動によって部屋を分けたりしています。	はい 28 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 3	・いつも運動靴が下駄箱に入っておらず、取りに戻らないといけないので工夫して欲しい ・すぐに園庭に出られるので外遊びが大好きな息子にとっては良い環境です。	・帰る際には荷物の確認(視覚で分かるように提示)をし、スムーズに降所できるように努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の療育終了後に振り返りを行い職員間で対応方法や子どもの様子を共有し業務改善を進めています。	/		引き続き、会議の中でも業務改善を検討していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	業務上での苦情は第三者委員会に報告し、講評を受けています。	/		第三者委員会の評価を受けた際には全職員に周知し業務改善に取り組んでいます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ必要な研修に参加しています。職員同士では、研修報告を行い情報共有をしています。	/		今後も職員の資質の向上のために専門職の視点を活かしながら会議や研修を行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画の作成	職員間で支援会議を行いながら児発管が支援計画の作成を行っています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0	利用料が細かい、他に比べて高いのでなんで高いのか分からない	保護者や子どものニーズに合わせて、関係機関との連携や支援計画について丁寧な説明をしていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0		子どものニーズをもとに活動内容を考え、その中で必要な力を育てていけるようにします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育後に職員同士で振り返りをしながら現状把握と実施内容の見直しを行っています。	はい 30 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 1		支援計画に記載した具体的な内容を実践していきながら、子どもの力を引き出すことができるようにします。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各グループで月間活動予定を立てることで活動の見直しを持ちながら、各グループの担当者と相談し詳細な活動内容を決定しています。	/		/
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇には、療育時間を変更し療育を実施しています。保護者のニーズに合わせて支援前延長を行っています。	/		保護者のニーズを聞き取りながら必要な支援を検討していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて活動のある程度固定化して定着を図っていることもあります。グループによっては、子どもたちが計画を立てた活動について実行できるよう支援をしています。	はい 27 どちらでもない 4 いいえ 0 わからない 1	・子ども達が話し合っ て決めているので楽しく活動できてると思う。 ・自分の意見が伝えられないことがありますので先生方で設定して欲しいです。	引き続き、子どもの主体的な意見を取り入れながら期待や楽しみ、安心感を持って活動に参加できるようにしていきます。活動のねらいをお伝えし、保護者の方と共有できるように努めます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動前に職員間で活動内容や役割を確認、相談してから活動を行っています。	/		/
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員間で療育終了後や時間を合わせて話し合い、支援や子どもの気になった部分があれば次回どうするのか等の話しをしながら記録をとっています。	/		/
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌になるようにしています。それを基に支援の改善を考えています。	/		/

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回利用されている方の様子を共有しています。					
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画				必要に応じて小集団や個別療育の児発管が担当者会議に参加しています。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施					
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備					
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有				小学校の担任の先生が見学にきたり、小学校に訪問したりして子どもの状態や情報の共有を行っております。また、トライアングル会議に積極的に出席しています。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供				必要に応じて会議を設け今までの支援内容や子どもの様子の情報提供を行っています。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進				専門機関による研修に参加しています。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公共交通機関を利用したり、社会資源を活用した活動を積極的に取り入れています。夏祭りを実施し併設している子ども園の児童との交流を図っています。	はい 18 どちらでもない 5 いいえ 1 わからない 9	引き続き、地域資源を利用しながら活動の幅を広げていきます。活動内容を写真やメールで保護者の方にも分かりやすくお伝えしていきます。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	太子福祉フェスティバルに参加し、地域の方や子どもたちとの交流を行いました。当日ご利用の子ども達と一緒に参加をしました。				
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。療育終了後のフィードバックやメール配信で毎回支援内容をお伝えしています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0		引き続き、保護者の方が安心して利用してもらえるよう契約内容の変更があった時には説明会を開かせていただきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画は読み合わせながら内容の確認を行っています。了解を頂き捺印をいただいています。	はい 32 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0		支援計画を説明する時には子どものプラスの力に視点を置き、分かりやすい説明を心がけていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		はい 32 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	・時間が合わずなかなか参加できません	引き続き保護者のニーズに合わせた講座を開催していきます。より分かりやすい親講座のご案内方法を検討していきます。また開催時間についても参加しやすい時間の設定をしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回小集団療育終了後に、保護者の方に対してフィードバックを行ったり、メール配信でお伝えをしています。必要に応じて連絡帳でのやりとりや面談の時間を設けています。	はい 31 どちらでもない2 いいえ 0 わからない 0	・連絡帳で伝えさせてもらいます。 ・お迎えの時など、その日の事だけでなく色々なことも相談できてると思います。	引き続き必要に応じて、個別で面談の機会を設けていながら共通理解に努めていきます。療育の中で有効な支援方法があれば保護者の方と共有していけるようにします。療育場面を見てもらう機会を増やしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。連絡事項や相談がある時には連絡帳に記入いただいています。	はい 31 どちらでもない2 いいえ 0 わからない 0		必要に応じて、個別で面談の機会を設けていながら共通理解に努めていきます。療育の中で有効な支援方法があれば保護者の方と共有していけるようにします。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		はい 20 どちらでもない 5 いいえ 1 わからない 6	・提案はして頂いているが参加していない。	引き続き保護者交流会を企画しながら、保護者同士の交流を図っていきます。また、より分かりやすいご案内方法を検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 24 どちらでもない0 いいえ 1 わからない 7	・助かってます。 ・利用したことがない。	保護者の方が不快な思いにならないように丁寧な説明を心掛けていきます。苦情があった際には当日保護者と面談を実施し、謝罪と説明を行います。必要な内容については、情報共有の観点から情報の開示を検討します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後にフィードバックしたりメール配信をしてお伝えをしています。写真でお伝えすることもあります。	はい 29 どちらでもない0 いいえ 1 わからない 2		引き続き、口頭やメールを通してご様子をお伝えしていきます。必要に応じて、個別に時間を設けてご様子をお伝えしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼろ便りをメールで配信し、予定や各グループの活動紹介をしています。	はい 32 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0	・毎月るぼろ便りを楽しみにしています。 ・メール配信になったことでいつでも手軽に見れるようになったと思います。	引き続き、毎月るぼろ便りをメールで配信し、予定や各グループの活動紹介をしていきます。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 30 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 5	改善されました	個人情報の管理を徹底し、安心してご利用して頂けるように努めていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	はおとの森こども園と一緒に感染症対策委員会を立ちあげて、時々研修を行っています。また、流行時期に合わせて情報発信をしています。緊急時対応マニュアルも作成しています。緊急時には速やかに対応することができるよう外出企画書を書き職員内で周知しています。	はい 25 どちらでもない1 いいえ 1 わからない 5	・サービス利用時に丁寧な説明があったと思います。	必要に応じて保護者の方へも周知していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。	はい 14 どちらでもない3 いいえ 1 わからない 13	防災訓練の様子の発信をありがとうございました。分かりやすかったです。	引き続き避難訓練を実施していきます。避難訓練の予定をるぼろ便りでお知らせしていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。	/		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明しています。身体拘束に対する考え方、受け止め方の共通理解をし、必要な場合においては適切な手順で対応します。	/		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、アレルギーについてチェック記入していたが、クッキングの際には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないかの確認をしています。	/		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、リスクマネジメント会議で職員に周知します。		
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	はい 31 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	毎回楽しみにしています。	
	2	事業所の支援に満足しているか	はい 31 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	・利用時間を長くしてほしい ・土曜日の利用回数に疑問がある。	今後、療育時間の変更を検討しています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達さぼーとセンターるぼろ（放課後等デイサービス）				公表日	令和 7年 1月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	人数やプログラムにに応じて間取りや広さを変えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5		定員に対する配置は適切であるが、各日の子どもの状態に合わせた配置は検討が必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	障害特性に応じて、目的別に部屋を区切ったり、視覚支援を図るなどして環境を整えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	子どもの状況に応じて部屋を選べるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	業務の前後にミーティングを開催し意見交換を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に職員会議やミーティングを開催し、密な情報共有と意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		現状を振り返りながら、評価行動につなげられるよう今後検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部講師による研修や外部研修を計画的に実施している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全員が参加する個別支援会議を通じて、ニーズや課題を共有し支援計画内容の検討に努めている。		
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2			
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	子どものニーズや課題に応じて、必要とされるときは、意識的に同じプログラムを繰り返す場合がある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1		
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	送り迎えの際に、日常的に保護者からの相談に応じたり、意見を聞く機会を設けている。また、希望者には講座を開いている。	保護者が、仕事の都合により集まりにくい場合の設定に工夫が必要。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0			

	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	市町村主催の連携会議に出席し、支援体制の共有を行っている。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送り迎えの際に、可能な限り共通理解を持っている。必要に応じて面談している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		きょうだい児への支援は未だ機会がない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		併設こども園が実施する行事と連携を図る。
非常時等の対応	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月サービス時間内に避難訓練を行っている。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者へ確認したうえで、リスト作成し視覚化を図っている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	事業所入り口に掲示している。	

58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		